



# 妻沼聖天山・歓喜院聖天堂が国宝指定に



◆ 江南文化財センター  
TEL 048-536-5062

建造物としては県内初の国宝指定で、昭和25年の文化財保護法の制定以降、本市では初めての国宝指定となります。歓喜院聖天堂は、享保20年(1735年)から宝暦10年(1760年)にかけて、林兵衛正清および正信らによって建立されました。これまで知られてきた彫刻技術の高さに加え、平成15年から約7年間の大修理の過程で、明らかに変わった漆の使い分けなどの高度な技術を駆使した近世装飾建築の頂点をなす建物であり、また庶民信仰に基づく民衆の寄進によって建立された点が、文化史上高い価値を有すると評価されました。



**妻沼聖天山歓喜院** 妻沼 1627  
☎ 048-588-1644(寺務所)  
バス利用の場合  
JR熊谷駅～朝日バス太田駅行・妻沼聖天前行・西小泉駅行～「妻沼聖天前」下車(1分)  
車利用の場合  
駐車場:めぬま観光駐車場 83台  
(坂田医院旧診療所跡地)  
駐車場から徒歩約10分

**国宝とは**  
文化財保護法によって国が重要文化財に指定した物件のうち、世界文化の見地から価値が高く、類のない国民の宝たるものであるとして、(国)文部科学大臣が指定したものです。  
現在、県内では工芸品や書跡・典籍、考古資料が指定されています。



左:井山裕太棋士(天元) 右:山下敬吾棋士(本因坊道吾)

## 手に汗握る攻防

5月28日・29日に第67期本因坊戦第2局が妻沼聖天山歓喜院本坊書院で行われました。最後までもつれた戦いは挑戦者の井山天元が制し第2局は幕を閉じました。



**美味しい! B級グルメ大会大盛況!**  
5月27日に熊谷スポーツ文化公園で、「第2回熊谷B級グルメ大会」が開催され、各店舗の工夫をこらした料理に皆、舌鼓を打っていました。なお、新作発表会「くまがや・オブ・ザ・イヤー」部門は、来場者の投票により、ホシカワカフェの「白いコーヒープランマンジェ」が優勝しました。



## 5分間の天体ショーにかぶりつき



5月21日、プラネタリウム館で金環日食特別観覧会が行われました。好天に恵まれ、早朝にもかかわらず約700人の方が参加しました。



## 平成24年度くまがや環境賞表彰

環境保全と創造にかかわる自主的な活動や、環境意識の普及啓発に大きな貢献をされた「熊谷市ムサシトミヨをまもる会」が5月20日、くまがやエコライフフェア2012八木橋会場において、表彰を受けました。

## トップアスリート達の競演



5月19日・20日に熊谷スポーツ文化公園で東日本実業団陸上競技選手権大会が開催されました。日本記録保持者やロンドンオリンピック出場者などのトップアスリートも参加し、会場を沸かせました。

市報クイズ5月号で寄せられたご意見を紹介します。

## おたよりパレット

テーマ  
**「夏休みの思い出」**

祭りや海やキャンプなど楽しい思い出と、宿題やラジオ体操など大変だった思い出、どちらも良い思い出ですね。今年はどんな思い出が増えるか楽しみです! 暑さに負けず、夏を満喫しましょう!  
※おたよりパレットは、市ホームページでも更詳しく紹介しています▶<http://www.city.kumagaya.lg.jp/>

- 毎年福島の海水浴へ家族全員で行っていましたが、昨年の震災で今年は一年ぶりに行く予定です。夏休みとくれば福島の海ですね。(60代・女性)
- 小学生の時は毎日プールに行き、こんがり日焼けをして2学期に登校しました。一番日焼けをした人が一番偉い! と思っていました。(30代・女性)
- ラジオ体操に起きると夏休みの宿題が大変でした。今も早起きは嫌いです。(30代・男性)
- 夏休みの思い出は、今は亡き祖母と行ったうちわ祭と花火大会です。ずっと2人でいっていたので寂しいですが、良い思い出になっています。(30代・女性)
- 高校生時代の思い出はやっぱ! 仲間と海でした。特に湘南江ノ島は最高の思い出でした。(50代・男性)

今月のテーマ「あなたの宝物」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

**応募方法**  
ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「あなたの宝物」についてのコメントを必ず記入のうえ、7月23日(月)までにご応募ください(一人につき一通)。  
※コメントがないものは無効となります。  
《応募先》  
〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課  
☎ kohokocho@city.kumagaya.lg.jp  
※なお、市内の商店・企業を知っていただくという趣旨で、当選者には月末頃にプレゼント引換券をお送りしますので、お店でご使用ください。当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

**5月号の正解**  
①2 めぬま ◆応募総数60通中、正解59通

**今月の問題**  
次の□に入ることを、それぞれお答えください。  
① □の祇園と称される熊谷うちわ祭が、今年も7月20日(金)・21日(土)・22日(日)で開催されます。  
②今年も熊谷市オリジナルの暑さ対策□を作成し、市内の映画館などで放映します。

**今月のプレゼント**  
イタリア料理SCACCOMATTO(スカッコマト)ご提供の、**パルミジャーノチーズのパン**を、正解者の中から抽選で20人に差し上げます。  
SCACCOMATTO 所在地:佐谷田983-2 電話:048-527-5120

市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業等を募集しています。詳しくは、広報広聴課 ☎内線212までお問合せください。



昔熊谷は県内最大の人形の街だったんですよ。明治の頃は人形関連の件数が約100件ありました。家業は江戸から続く人形屋で私は6代目になります。家を継ぎ、人形師になった当初は正直この仕事を続けていく

その姿に迷いは消えた

情熱世代

# 夢追い人

魂を込める器作り

小谷野宏樹さん(本町)  
(人形師)



作業場での小谷野さん

ことには迷いがありました。そんな時、私の手がけた直実公の人形が設置された銀座区の山車が京都で披露されるので、それと同行したのです。八坂神社を背に、人形が山車の上から出てきたのを見た時、その姿に感動して涙が出てきました。この瞬間、職人を続けていく決意が揺らぎないものへと変わりました。

こだわりを持ち、伝統を守る

人形作りは顔や手など、部分ごとに専門の職人が作り、それを最終的に組み合わせて完成させるやり方が一般的です。昔からの伝統的な技法を守りながら、全てを自分で制作しています。全てやらなければ、作品としての統一感も出ませんし、自分の作とは言えないのではない

情熱と技術を注ぎ、魂は注がれる

か、というこだわりがあるからです。人形を制作するうえで、お客様の要求や期待に応えられているかどうかなど不安やプレッシャーを感じる時もあります。お客さんが笑顔で喜んでくれることが一番うれしくて、それを見るとこれまでの苦労が報われますね。

魂は注がれる

依代とされるものの中身は中空のものが多く、そこに神や人の思いが宿るとされています。よく皆さんに聞かれることがありますが、「人形を作る際、魂を込めて作っていますか。私は人形師として情熱や持てる技術をつぎ込んで人形作りをしています。しかし、魂を込めるのは人形師ではありません。その人形を愛してくれる街の人やお客さんなんです。人形師とは、人々が気持ちを込める器を作る仕事であるとも言えるかもしれませんね。

今回、荒川区の山車が新調されるのに伴い、その山車人形と飾り幕を制作しました。市内では、銀座区、第一本町区を含め3地区の人形を手掛けています。これらの人形が皆さんに愛されるものとなり、うちわ祭発展の一助となれたら嬉しいですね。ぜひこれらの山車人形にも注目していただけたらと思います。

## RUGBY WORLD CUP 2019年にラグビーワールドカップが日本にやってくる! 第5回

(C)2011,JRFU(photo by H.Nagaoka)

### ラグビー日本代表に外国人選手がいる理由

昨年開催されたラグビーワールドカップの日本代表チームに外国人選手がいたことを気づかれた方がいらっしゃると思います。

過去のワールドカップでの日本代表チームは、第1回、第2回大会では、登録メンバー26人中2人、第3回は26人中4人、第4回は30人中6人、第5回は31人中4人、第6回は32人中8人、そして第7回大会では、34人中12人が外国人選手でした。(日本ラグビーフットボール協会HPより)このことは、いろいろと議論されてきました。

ラグビーワールドカップの選手資格は、選手の国籍は問わず、ラグビー界特有の「所属協会主義」という考え方があり、その国に3年居住してプレーすれば代表チームに入る資格ができるとされています。

これは、ラグビーの発祥の地であるイギリス人が、世界中の植民地でプレーしていたことの名残とも言われています。

すが、現在では民族、人種は異なってもともに戦った者は仲間として認めるというラグビー独特の考え方となっています。

日本ラグビー協会規約では、日本で出生している。または、両親、祖父母のひとりが日本で出生している。日本ラグビー協会傘下のチームに所属し選手登録を行った後、満3年以上継続して日本に居住していること。などの規定があり、これらの条件を満たした選手が代表に選出されているそうです。

### ラグビーワールドカップ招致ピンバッチを作成しました。

埼玉県招致委員会では、招致活動をアピールするため、シンボルマークを作成し、それを使用したピンバッチを作成しました。ピンバッチは、市役所6階のラグビーワールドカップ招致室で販売しています。(一個200円)



【次回は、9月号に掲載します】

◆ラグビーワールドカップ招致室 内線520

## 人口と世帯

●平成24年6月1日現在(対前月比)

■人口 204,302人(-26) 男 102,231人(-19) 女 102,071人(-7) ■世帯 83,416(+106)

「市報くまがや」7月号は、72,300部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり14円です。

「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。

発行日 平成24年7月1日 ●発行 熊谷市  
編集 広報広聴課 〒360-0860 熊谷市宮町二丁目47番地1  
TEL 048-524-1111(内線2006) FAX 048-524-2870

「市報くまがや」は、毎月1日(原則)に発行し、自治会を通じてお届けします。また、市役所・行政センター・出張所・公民館・郵便局などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧いただけます。(URL) http://www.city.kumagaya.lg.jp/